

図書館だより

豊中市立第四中学校 No.8 2022年10月号



冷暖差の激しい日々が続きますが、澄んだ青空をみあげると秋はやっぱり気持ちがいい季節ですね！

英語で本を借ってみませんか？

10月25日(火)から10月31日(月)まで

英語で本を借ってみませんか？

単語を並べるだけでOK！ 日本語混じりもOK！

身振り手振りは、もちろんOK！

遊びだと思って気軽に借りてください。

伝えてほしいことは、いつもと一緒↓

名前、出席番号、クラス、学年、
name, number, class, grade

例えば、「1年7組24番の田中さん」が本を借りる時は、

I am Tanaka, number twenty-four,
class seven, first grade.



学年を言うとき — 他の言い方でもOK。

- 1年生 (first grade)
- 2年生 (second grade)
- 3年生 (third grade)

クラスを言うとき

class ● ← 自分のクラス番号

中学生に

教育実習の先生にききました おすすめの本はありますか？

★ 国語科の先生★

『闇の守り人』(守り人シリーズ)

上橋菜穂子 新潮文庫 913ウ

“守り人シリーズ”の第2巻で、女用心棒である主人公のバルサが過去を見つめ直し、乗り越える話です。バルサのアクションシーンはカッコよく、気がつく物語世界に引き込まれています。そして、バルサの生き様や熱い思いにグッとくる本です。ぜひ手に取って読んでみてください！

★ 理科の先生★

『図書館戦争』

有川浩 角川書店 913ア

表現の自由が規制された世界で、行き過ぎた検閲から本を守るための組織である図書館隊。その新人隊員である笠原郁の恋と活躍を描いたお話です。漫画や映画にもなり人気の作品です。ぜひ読んでみてください。

★ 社会科の先生★

『窓の向こうのガーシュウィン』

宮下奈都 集英社文庫 913マ

自分に欠落感を抱えたまま19年間を過ごしてきた私が、ヘルパーとして訪れた先生の家で、思い出に額をつける「額装家」の男性と出会う。人と関わらず生きてきた私が男性と関わる中で、人の温かさに触れていく物語です。

★ 英語科の先生★

『きみの友だち』

重松清 新潮社 913シ

一わたしは「みんな」を信じない—
事故がきっかけで足が不自由になってしまった恵美ちゃんと病気がちな由佳ちゃんが「友だち」のほんとうの意味をさがす物語。

★ 家庭科の先生★

『氷菓』

米澤穂信 角川文庫 913ヨ

省エネを信条とする高校一年生、折木奉太郎は、ひよんなことから廃部寸前の「古典部」に入部します。古典部で出会った好奇心旺盛な千反田える、中学からの腐れ縁、井原摩耶花と福部里志。彼ら4人が日常の様々な事件を推理していくミステリーです。アニメ化もしているのでアニメでもぜひ!!

★ 数学科の先生★

『最後のページをめくるまで』

水生大海 双葉文庫 913ミ

ミステリー好きの皆さん、必見です。題名のとおり、最後のページでいい意味で裏切ってくる作品ばかりです。短編集で5つのお話が入っているので、あまり長い話は読めない…という人でも全然大丈夫です！ぜひ読んでみてください。



『甲子園に行くのが夢だった』

松坂大輔/監修 飛鳥新社 2022年 **783コ**
強豪校の球児の気持ち、選手から転向した学生コーチ、奮闘する息子を支える母…。「甲子園」に纏わる人たちの想いを伝える実話です。

『強くなる本』 岡本太郎 興陽館 2022年 **723才**

他人の眼なんて気にするな。やりたいことをやる。それできみは強くなる。万博公園の“太陽の塔”の製作者、岡本太郎氏からの強烈なメッセージ。

『終止符のない人生』

反田恭平 幻冬舎 2022年 **762ソ**
日本人として51年ぶりにショパン国際ピアノコンクール2位に輝いた世界が注目する音楽家・反田恭平さん。彼が歩んだこれまでの軌跡と未来を語ります。

『K-POP bibimbap』

好きな人をもっと深く知るための韓国文化』

桑畑優香・酒井美絵子 池田書店 2022年 **767ク**

韓国カルチャーの入門書。K-POPをメインに、韓ドラや映画、それに伴う韓国文化について紹介します。

『その本は』

又吉直樹・よしたけしんすけ ポプラ社 2022年 **913マ**
本の好きな王様が、2人の男を城に呼び、「世界中をまわって「めずらしい本」の話を書いてきてくれ」と言いました。旅に出た2人の男はどんな話を持ち帰るのでしょうか。

『N/A』 年森瑛 文藝春秋 2022年 **913ト**

松井まどか、高校2年生。付き合ってる人は同性。体重は40キロ弱を維持。でもレズビアンでも拒食症でもない。ただ「わたし」なだけ。

『博物館の少女 怪異研究事始め』

富安陽子 偕成社 2021年 **913ト**
明治16年、花岡イカルは、上野の博物館で怪異研究の手伝いをします。謎が謎を呼ぶミステリアス長篇。

『氷柱の声』

くどうれいん 講談社 2021年 **913ク**
東日本大震災が起きたとき伊智花は盛岡の高校生でした。10年の時間を経て、語れなかったこと、言葉にできなかった思いを語ります。

『汝、星のごとく』

凧良ゆう 講談社 2022年 **913ナ**
瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母に振り回され島に転校してきた權。心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして…。

『夜に星を放つ』

窪美澄 文藝春秋 2022年 **913ク**
「真夜中のアボカド」「銀紙色のアンタレス」など、心の揺らぎが輝きを放つ全5編を収録しました。

『空をこえて七星のかなた』

加納朋子 集英社 2022年 **913カ**
「南の島へ行くぞ」というパパの言葉で石垣島へ旅することになった。南の十字に会いに行く」をはじめ、星を愛し、星に導かれた人々が紡ぐ7つのミステリー。

『モノクロの夏に帰る』

額賀濤社 中央公論新社 2022年 **913ク**
セクシャルマイノリティの書店員、保健室登校の女子中学生、家族にコンプレックスを持つテレビマン。一枚の古い写真によって若い彼らの心が動き始めます。

『死神と天使の円舞曲』

知念幹人 光文社 2022年 **913チ**
黒猫のクロは、自殺しようとする料理人に会います。婚約者に拒絶された上その彼女を喪い、彼は絶望の淵にいたのです。「死神」シリーズ第3弾。

『はじめての利他学』

若松英輔 NHK出版 2022年 **151ワ**
最近よく聞く「利他」という言葉。利他をめぐる思想史や、それを実践した人々の言葉も踏まえつつ、「自他のつながり」に迫ります。

『中学生から知りたいウクライナのこと』

小山哲・藤原辰史 ミシマ社 2022年 **238コ**
ウクライナの歴史や地政学的な複雑な立場を知ること、ウクライナでの戦争について、何が問題となっているのかわかりやすくなります。

『大人になってこまらないマンガで身につく』

『お金のちしき』

金の星社 2021年 **591才**
大人になるまでにかかるお金はいくらくらい必要なんだろう？生活を成り立たせる給料は？おこづかいはどう使う？お金のあつかい方を、楽しくマンガで説明します。